古民家の野外博物館
日本民家園だより

平成２年度第３号
《通号第22号》
発行　2.11.1
川崎市立日本民家園
川崎市多摩区枡形 7-1-1
電話 (044)922-2180〜1
印刷 ㈱ エイシン

豪雪地帯の民家、旧菅原家住宅

- 旧菅原家住宅
- 神奈川県指定重要文化財
- 寄棟造り，茅葺き，妻入り
- 平面積　151.72㎡
- 旧所在地　山形県東田川郡朝日村松沢
- 昭和45年２月　菅原竹治郎氏より川崎市に寄贈
- 昭和45年６月　解体工事着手
- 昭和59年３月　移築復原完了
- 平成元年２月　県重要文化財に指定される

旧　菅　原　家　住　宅

◆ 高窓「はっぽう」を持つ家

この家は，もと山形県鶴岡市の南西，信仰の対象として高名な出羽三山のふところに抱かれた東田川郡朝日村松沢にあった農家です。屋号を「名衛門（ナエモン）さん」といい，代々肝煎（キモイリ）（名主，庄屋と同じ）をつとめた家柄であったようです。建築された年代は，はっきりしないのですが，間取り・構造・材の仕上げ・風蝕の状態などを調べた結果，寛政３年（1791）の祈禱札が残されていたこともあって，18世紀の末頃と推定されています。

朝日村周辺は，豪雪地帯としても有名ですが，特色のある外観をもつ古民家が多数存在することでも知られています。この家もその例にもれず，採光と排煙のために寄棟造の屋根の途中に「はっぽう」と呼ばれる高窓が設けられていることや，棟に「ぐしぐら」がのせられ，「からすどまり」と呼ばれる飾りがつけられていることなどで，独特の造型をみせています。また，一見平屋建てのようにもみえますが，内部は三層に分かれていることも，この地方によくみられる特徴です。この屋根裏にある二・三階部分は「ちし」と呼ばれ，養蚕などに用いられていました。

この他，正面妻側の中二階に「高はっぽう」と呼ばれる多雪時の出入口が作られていること，さらに雪や雨から大戸口を守るため，「あまや」と呼ばれるスペースが設けられていることなど，豪雪に対処する工夫が随所にみられることも，この家の重要な特徴と言えるでしょう。

◆ みどころ

- 「はっぽう」や棟飾りのある屋根
- 前記の豪雪に対処する各種の工夫　など

あなたも参加してみませんか！

秋も深まり，もう冬がすぐ目の前に来ています。何かと忙しい季節ですが，１月までの間，民家園では，お正月にちなんだ催し物を用意して，皆様のお越しをお待ちしています。参加を希望される方は，下記の要領でお申し込み下さい。（お申し込み，お問い合わせは，電話044(922)2181まで。）

◆いろりべの集い

― 川崎の昔の生活を探る ―

今回は，カマド，セイロ，石臼，キネを使って，昔ながらの「おもちつき」を体験していただきます。

○日時　11月18日（日）午前10時から午後３時まで

○お申し込み　11月４日（日）午前９時から電話で先着15名様まで

○教材費　1000円

◆「文化の日」は無料開園

11月３日「文化の日」は，例年，年に一度の無料開園の日となっております。当日は入園の方に，自由にワラ細工を作っていただくコーナーも用意しておりますので，どうぞご家族皆様でお越し下さい。

◆民具づくり教室

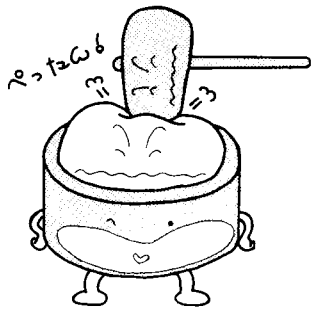
― しめ縄づくり ―

３回に分けて，ゴボウジメ，輪飾り，ミニ門松など，お正月のお飾りを作っていただきます。

○日時　11月25日，12月２日，９日の毎日曜日，午前10時から午後３時まで

○お申し込み　11月18日（日）午前９時から電話で先着30名様まで

○教材費　500円



◆体験学習

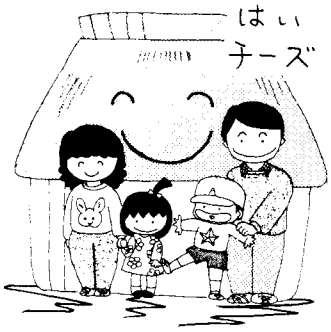
― 小正月のマユダンゴづくり ―

赤・白・緑のマユダンゴをつくり，枝に差し，古民家内に飾りつけます。

○日時　１月13日（日）午前10時から

○お申し込み　12月16日（日）午前９時から電話で先着25名様まで

○教材費　300円



◀年中行事展示▶

下記の年中行事を，旧北村家住宅で月毎に展示しています。

◆　**八日僧　＜12月中＞**

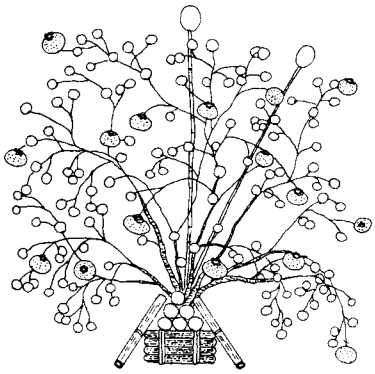
魔除けの目カゴを掲げます。

◆　**正月準備　＜12月中＞**

◆　**神棚飾り　＜１月中＞**

◆　**小正月行事　＜１月中＞**

１月の体験学習で作るマユダンゴのお飾りを展示します。



マユダンゴ

◀民技会の活動▶

民具製作技術保存会は，三つのグループにより下記の日程で民具の製作実演を行っています。

◆　**ワラ細工グループ**

11／18，12／２，９，　１／27

◆　**竹細工グループ**

11／18，12／16，１／27

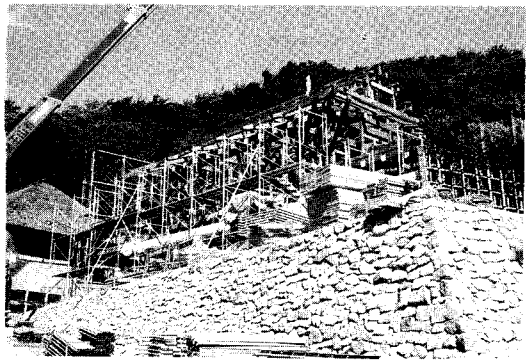
◆　**はた織りグループ**

11／18，12／16，１／27

園の動き

◆ 旧原家住宅の復原工事進む

再来年の完成をめざして整備を進めている本館地区において，本館の一部として利用される旧原家住宅（旧所在地：川崎市中原区小杉陣屋町。明治44年上棟）の移築復原工事が行われています。工事は順調に進んでおり，８月22日には棟上げ式が行われました。現在は，屋根の下地部分を施工中です。



棟上げ中の旧原家住宅

この旧原家住宅には，展示室・学習室・読書室などが設けられますが，創建時の旧態を生かした構成をとり，来園の方々には明治時代の民家の雰囲気を味わいながらご利用いただけるユニークな民家となりますのでご期待下さい。

◆ 体験学習 ― 郷土玩具作り：竹細工 ― 開催＜８／19＞ 水鉄砲などを作りました。参加者９名

◆ いろりべの集い ― 川崎の昔の生活を探る：足中ぞうり作り ― 開催＜８／26＞ 参加者11名

◆ 体験学習 ― 十五夜ダンゴ作り：石臼で粉を挽く ― 開催＜９／30＞ 参加者33名

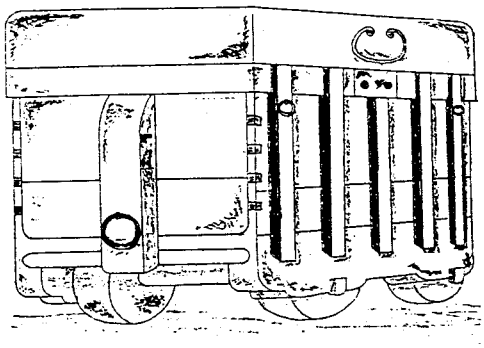
展示民具の紹介（1） ―車長持―

民家園には，開園以来多くの方々から寄贈していただいた民具が，多数保存されています。それらの資料は，暮しの移り変わりにより，ほとんど使われなくなってしまった生活用具なのですが，昔の人々の日常を今に伝える貴重な生き証人でもあります。そこで今号より新たに，園内で展示されている民具の中からいくつかを選び，数回に分けて簡単な解説を加えていくことにしました。まず今回は，車長持について解説します。

一般に長持には衣類や什器など大切なものを収めていました。そのため重量がかさみ，火事や地震などの緊急時には，運び出しが大変でした。そこで考え出されたのが車長持です。

車長持は，江戸時代初めには広く庶民の間で利用されるようになっていましたが，実際に物を入れて動かすには，やはり重量が重すぎました。そして緊急時には，かえって大混乱を引き起こす原因となっていたことが記録に残されています。特に明暦三年（1657）に江戸を襲った大火の際には，車長持が道を塞ぎ，大惨事となってしまいました。このため幕府は，天和二年（1682）十二月の「八百屋お七の火事」があったすぐ後，車長持の製造・使用を禁止してしまいました。

民家園内には，旧清宮家住宅と旧菅原家住宅に車長持が展示されています。そのうち旧清宮家住宅に展示されているものの前面には，「萬治四年（1661）正月吉日」と製造された時期を示す墨書が見つかっています。このように，民具にはっきりと紀年銘が書かれている例は珍しく，民家園が所蔵する民具の中でも，製造年代が確実に300年以上さかのぼることができるものは他に財布（元禄二年）があるのみです。

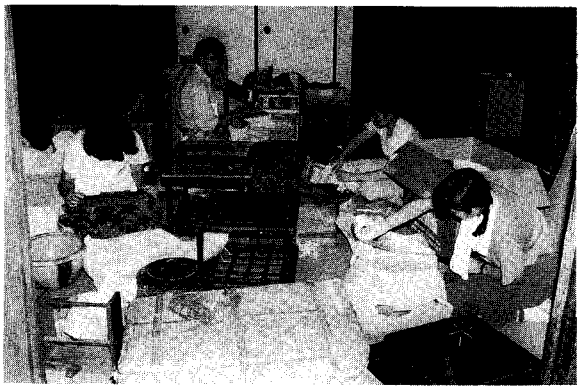


旧清宮家住宅に展示されている車長持

博物館実習生を迎えて

日本民家園では，今夏も博物館学芸員の資格取得を希望する大学生を実習生として受け入れ，４大学の８名が２グループに分かれ，７月末から９月中旬までの間２週間ずつ実習を行いました。今回は記録的な猛暑が続く中での実習作業でしたが，収蔵資料（民具・書籍・ビデオテープ）の整理や民俗行事（お盆行事）の展示設営など中身の濃いものとなりました。

実習生のお一人から次のような感想をいただいています。



今年度の実習風景

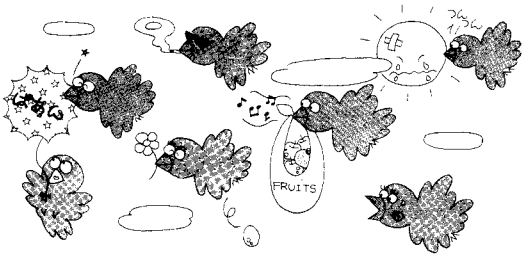
このたび，私達は平成２年９月１日から14日までの２週間，川崎市立日本民家園において博物館の館務実習をさせていただきました。

実習の内容は，寄贈民具の受け入れが中心で，毎日ホコリと格闘し，汗にまみれての作業でした。受け入れた民具は，日常使われていた生活用具が殆どでした。でも，見たことはあっても名前を知らない民具や使い方も判らない民具もあり，民具が収容されている箱は，さながらお楽しみ袋の様で開けるときが楽しみでした。特に，今回は衣類が多く，手製の腰巻や長襦袢などに触れるのは初めての機会でした。

また，民具整理の合間に行った，移築民家の障子の張り替え作業も楽しい思い出の一つです。やっときれいに張り終えたばかりの障子を脇に立て掛ける途中で，ビリッと破ってしまったときの悲劇は忘れられません。

こうして過ぎて行った実習は，本当に長いようで短い２週間でした。慣れない作業にとまどう私達に対し一つ一つの事柄を丁寧に教えて下さった先生方には大変感謝しております。今回の博物館実習では，普段学校などでは学ぶことができない実務を体験することができ，とても勉強になりました。本当にありがとうございました。

平成２年９月17日　立正大学　細川　裕子

編集後記

最近民家園のある生田緑地では，ちょっとした異変が起きています。異変と言うと少々大袈裟なのですが，カラスの数が以前よりずいぶん増えたような気がするのです。秋の夕暮に，一羽二羽が“カァーカァー”と飛んで行く姿は，ちょっともの悲しくて，風情もあるのですが，数十羽で編隊を組んでいる様はいただけません。頭の良い鳥なので，集団で行ういたずらも，こまったものです。どうか皆さん，民家園や緑地を利用なさる時は，“カラスのごちそう”（ゴミ）をできるだけ出さないようお願いいたします。　（Ｓ）